

議会だより

2019.7.27

No. **182**

山梨県昭和町議会

<http://www.town.showa.yamanashi.jp/>



しょうわ



区長と議員との
意見交換会

6月定例会で決まったこと

一般質問 ここが聞きたい

議員記者が行く！

女性防災ネット昭和

②

④

⑧

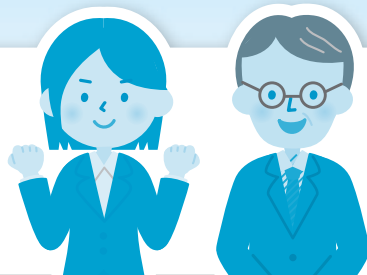
⑭

防災講座の様子 清水新居地区公民館にて

●表題(しょうわ)については
「常永小学校 6年1組
韓 海斗 さん(かん かいと)」の直筆です。

区長と議員との意見交換会！

今回の「区長と議員との意見交換会」では、
区の諸問題や今後の井戸端会議のあり方について
様々な意見が出されました。その一部をご紹介します。



参加者

敬称略
(以上12地区区長
ほか町議会議員)

西条一区：曾根孝順	西条二区：井口芳明	清水新居：藤原勇一(副会長)
西条新田：山村正之	押越：石原保夫	河東中島：塚田栄雄
紙漣阿原：泉 敏弘	築地新居：磯部光美(会長)	飯 喰：高野和秀
河 西：秋山正巳	上河東：中澤辰秋(副会長)	上河東二区：河西芳彦

区長から出た各区の問題点

- ◎若い人が増えているが、組を抜きたいという意見があり、区長が直接説得している。
- ◎区長の仕事はやることが多く大変だが、仕事をしながらでも区長ができることを区民に伝えていきたい。
- ◎役員の人選や依頼が大変なので議員に協力をお願いしたい。
- ◎各地区の消防団員数は、世帯数に応じて団員数を見直してほしい。



今回の意見交換会では、区長さんたちから多くのご意見をいただきました。最後に石原議長から、これからの井戸端会議はみなさんからのご意見を踏まえて、新しい目線で実施していきたいとの話があった。区長のみなさん、ありがとうございました。



井戸端会議のあり方

- ◎最近では井戸端会議を開いてもなかなか人も集まらず意見も出づらくなってきている。
- ◎井戸端会議の始まる時間は区ごとに決められるので大勢集まれる時間にしよう工夫してみては？
- ◎井戸端会議はその場で答えを求める集会ではないと思う。問題を吸い上げたり、なんでも聞きますよという姿勢を区民は求めているのではないか。
- ◎うちの区には年齢層ごとの集会があるので、年齢層で集まれば今まで言いにくかった人も意見を言いやすいのでは？
- ◎対面式の会議ではなく、グループワークのように膝を突き合わせて議員と身近な話をするのもいいのではないか。



●井戸端会議とは●

議員が各区において、町民のみなさんと意見を交換する集会です。区長会の協力のもと、町民と議員が直接対話する機会として、平成21年から開催されています。

押原公園の園路改修はじまる！

—令和元年度一般会計・特別会計補正予算—

一般会計

※全員賛成で可決

補正額3億9,791万円を追加し、歳入歳出総額を78億3,791万円としました。

主な 使いみち

- 押原公園園路改修工事5,544万円
- 町道30号線道路新設工事7,200万円
- 西条小学校グラウンド改修工事2,508万円
- プレミアム付き商品券事業交付金3,420万円

プレミアム付き商品券とは、2万円で2万5千円分の商品券を購入できるもの。
対象は低所得者（住民税非課税世帯）・子育て（3歳未満）世帯主向け。7月以降に随時要件を確認し購入希望申請を受け付け。 担当：環境経済課



押原公園園路

特別会計

※全員賛成で可決

- 国民健康保険会計 38万円増（総額：18億1,115万円）
- 後期高齢者医療会計 10万円増（総額： 1億7,671万円）
- 介護サービス会計 38万円増（総額： 2,550万円）

5月臨時会

専決処分承認 他

※全員賛成で承認・可決

- 昭和町税条例中改正の件
- 平成30年度昭和町一般会計補正予算（第5号）
- 平成30年度昭和町国民健康保険特別会計補正予算（第5号）
- 平成30年度昭和町介護保険特別会計補正予算（第3号）
- 平成30年度昭和町下水道事業特別会計補正予算（第3号）
- 昭和町都市計画審議会条例中改正の件
- 昭和町教育委員：小宮山 稔氏（西条二区）

6月 定例会で

決まったこと

令和元年6月定例会は、6月11日から20日まで10日間の会期で開きました。町長提出の条例関係2案件、令和元年度一般会計および特別会計補正予算5案件、その他2案件の合計9案件を審議しました。
一般質問では7人の議員が10件について活発な質問・意見を展開しました。


令和元年6月定例会で決まったこと

〈詳細は8月末更新予定のHPの会議録をご覧ください。〉

※石原 高明議員は議長のため、採決には加わっていません。

種 別	案 件 名	石原 政信	長田 信夫	海野 豊	小林 耐三	堀 門太	金丸 富一	葉袋 義久	石原 一好	※石原 高明	林 和仁	河住 保茂	樋口 敏夫	田中 博愛	河田 あけみ	審議 結果
議案 第28号	昭和町介護保険条例中改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	全員賛成で可決
議案 第29号	昭和町森林環境譲与税基金条例制定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	全員賛成で可決
議案 第30号	令和元年度昭和町一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	全員賛成で可決
議案 第31号	令和元年度昭和町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	全員賛成で可決
議案 第32号	令和元年度昭和町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	全員賛成で可決
議案 第33号	令和元年度昭和町介護サービス特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	全員賛成で可決
議案 第34号	令和元年度昭和町渇水対策事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	全員賛成で可決
諮問 第1号	人権擁護委員候補者の推薦の件	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	全員賛成で適任
同意 第6号	昭和町固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	全員賛成で同意


●人権擁護委員候補者：太田 由美子氏（清水新居区） ●昭和町固定資産評価審査委員会委員：長田 茂氏（西条一区）



ほたるんに聞いてみよう！

ねえねえほたるん、【議会で決まったこと】の中の「補正予算」ってどんなもの？

まず、「予算」から説明するね。「予算」は町のために使うお金で、3月にある議会で来年度はお金をこれだけ使いましょうっていう「当初予算」を決めるんだ。でも「当初予算」を決めた後に、あれをしなきゃいけない、これもしなきゃいけないっていうことが出てくるんだ。そんな時に、使うお金（予算）をこれだけ増やして（補正して）くださいっていうのが「補正予算」なんだよ。増やすだけじゃなく、このお金は予定していたよりも、使わなくて済んだから減らしてくださいっていうのも「補正予算」っていうよ。またわからないことがあったら聞いてね！



第2回定例会(6月)委員会質疑

地方分権 対策特別委員会

(仮称)生涯学習館 建設の経緯について

石原(高)議員 基本構想の説明は受けたが、町長の考え方については議会に示されていない。

喫緊の課題として、小学校の25人学級のクラス再編成や校舎の増築などあるが、町長の今後の考えを聞きたい。

町長 本町の庁舎及び総合会館は大規模改修が長年行われていない。

押原中学校及び常永小学校の増築も検討しなければならぬ状況であり、全体の優先順位を見極め、町民の意見を聞きながら慎重に進めていく。

水源対策 特別委員会

当局より昭和町・山梨大学共同研究の成果報告およびその他2件(地下水浄化設備の停止について、甲府市上下水道局昭和取水場送水量について)の報告があった。

また、今年昭和町にて、地方創生リレーシンポジウムが開催される旨の報告もあった。

開催予定は12月8日(日)



押越地内の補償井戸

総務教育常任委員会

職員数について

海野議員 正規の職員と臨時職員がほぼ同数となっているが、見直しを検討しているのか。

総務課長 昭和町定員適正化計画では正職員は109名となっているので令和5年までに増員する。

投光器について

行をしていく。

長田議員 新規にLED投光器を購入するが、既存の投光器はどうするのか。

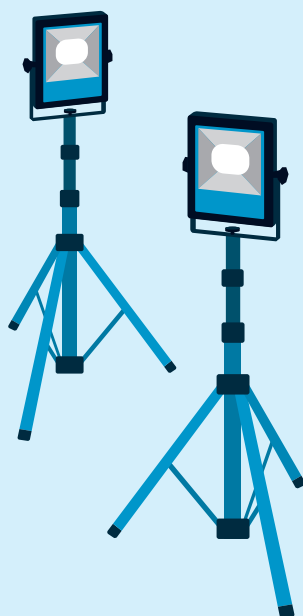
また、陸上特殊無線技士資格はどういうものか。

企画財政課長 避難所以外でも使用できるので廃棄等は考えていない。

繰越明許費について

石原(一)議員 (仮称)生涯学習館基本計画作成業務委託金1,198万円をどのようにしていくのか。

生涯学習課長 いずれは、基本計画を作っていくかなければならぬため、状況を見ながら予算執行



産業厚生常任委員会

子育て支援拠点 センターについて

海野議員 子育て支援拠点センターはどのような施設で、いつから利用できるのか。

福祉課長 概ね0歳から2歳を対象として、1日を通して遊びに行ける施設。

専門の保健師・保育士を配置する予定。令和2年度に補助金申請、令和3年4月に利用開始予定。

長田議員 西側の道路が狭いので、道水路を拡幅改修してはどうか。

福祉課長 建設課の意見を聞きながら検討する。

石原(一)議員 発達障害の会で、現状昭和町に相談するところがないと聞いているが、相談の場を設けることはできないか。また作業療法士を町で



子育て支援拠点センター(旧中銀跡地)

介護クーポン事業の 見直しについて

小林議員 現在、サービス付き高齢者住宅(サ高住)入居者なども、クーポン券支給の対象であるが、サ高住も要介護者の生活の場に変わりはないので、今後もその運用は残してほしい。

いきいき健康課長 介護クーポンは、在宅で介護を受ける方と介護をされるご家族双方の身体的・精神的・経済的負担の軽減が目的の事業である。実施要綱に則り、本来の目的や対象者に即して、運用していきたいと考えている。

金丸議員 介護クーポン事業の支給対象から、今年度トイレットペーパー、ティッシュペーパー等が除外されたが、数量限定で認められないか。

いきいき健康課長 クー

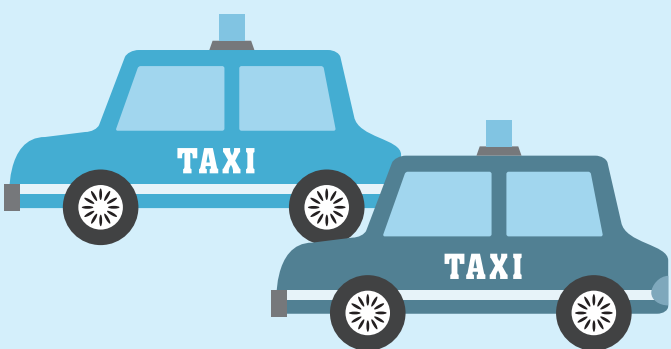
ポン券で購入できる物品については、実施要綱において「紙おむつなどの介護に必要なもの」と定められているが、長年の運用の中で、介護用品とは言い難い日常生活雑貨も含む運用がされてきている。

高齢化が進み、要介護の方もますます増加することが見込まれる中で、この事業を持続可能なものにするため、本来の実施要綱に基づき、見直しをさせていただいた。

利用者のご理解とご協力をお願いしたい。

高齢者の運転免許証 返納について

河田議員 高齢者の交通事故対策について、高齢者の免許返納のため、タクシー券等の助成は検討できないか。



福祉課長 財源の確保が難しい。昭和町はコンパクトな中にバランスよく施設があり、比較的移動しやすい町である。高齢者の免許自主返納はご自身や家族でしっかりと判断していただきたい。

陸上特殊無線技士資格は、町の防災無線を扱う資格であり、担当になった職員1人が取得するもの。

Q 「地区防災計画」策定に向けて指導を

A 各地区が計画を策定できるように取り組みたい



はやし かずひと
林 和仁 議員

林 地域防災力を強化するため、2014年4月に「地区防災計画制度」が施行された。国のガイドラインでは自主防災組織ごと、災害時の住民の避難行動や要支援者の支援方法、避難所の運営体制などを決めるように示されている。

しかし、自治会単位の計画策定には難しさがあり、山梨県では「地区防災計画」を策定した自治会は5.6%と低い。

昭和町でもその地区にあった計画策定を進めるために行政が指導を行い、実

企画財政課長 地区防災計画策定に向けた研修会、各地区の防災リーダーや防災士の養成講座などの啓発に取り組みたい。

再質問

専門知識のある人材を育て、防災リーダーと協力しながら、行政の指導の下、災害を最小限に抑える各地区に合った計画策定が必要だと考えるがどうか。

町長 地区防災計画については、地区ごとの特色を活かした計画の作成を進めていく必要性がある。そのためにはまず、県内の計画作成を行った市や作成中の市町村の取り組み方法を参考に、各地区への啓発や計画作成に向けた指導をしていきたいと思う。

町内の各地区の自主防災組織の研修会も啓発し、各地区が計画を作成できるように取り組みたい。



山伏川の桜

いきいき健康課長 2つの健診（検診）についてのメリットや必要性について更なる周知を行うことや、「もの忘れ健診」については、リピート率を上げることと、「認知症初期集中支援チーム」と連携し、より包括的な自立支援へ繋げたいと考えている。

再質問 本町独自の取り組みの強化とは、具体的にどのようなことか。

また、職員の関わりについては「住民主体」で「継続的」に展開するため、保健師と行政職とがチームとなり、役割と目的を持った支援が効果的だと考えている。

再質問

石原

Q 地域資源の桜を活かした協働のイベントを地域のより良い交流の場として機能させていきたい

町民の交流の場をつくることで、高齢化社会への対応や、町民のつながりをつくるために大切だ。

地域の資源である桜を活かした、地域、企業、行政も関わる協働イベントを開催できれば、つながりを深め、支え合いの充実へつながると考えるが。

町長

本町には押原、常永、西条地区すべてに桜の名所がそろう。彩の広場では、地域や企業などとの協働によるイベントを開催できるよう取り組みたい。

また山伏川や今川、諏訪神社も、ライトアップなどを引き続き行い、今後も、町民のより良い交流の場として機能させていきたい。

施策を問う

ここが聞きたい

一般質問の内容は議会事務局及び8月末更新のHP会議録からも閲覧できます。

Q 教職員の選挙運動

A 法令遵守の徹底に努めていく



ほり もんた
堀 門太 議員

堀 選挙は住民の代表を選ぶ非常に大切な制度で、選挙運動は法により細かく定められている。とりわけ公務員は地方公務員法や公職選挙法により運動が制限されていて、中でも教職員はより厳格な規定が設けられ、教育の政治的中立性の原則に基づき政治的活動等を行うことは厳しく制限されている。

本町ではこれまでの各選挙で政治的中立性は徹底されていたか。

再質問

今年の選挙で住民から教職者が選挙運動をしているという情報が寄せられ、県教育委員会に確認したところ、昭和町の教育委員会と学校長に指導するという回答を得たが、どう対応したのか。

学校教育課長 県が聞き取りを行い、問題はなかったという報告を受けている。

教育長

公務員は政治的中立の原則を確保しなければならず、政治的行為や選挙運動は禁止されている。教育公務員についてもその地位を利用した政治的行為や選挙運動は禁止されている。

教育委員会としても日頃から教育公務員としての職務に関する指導の徹底に努めている。今後も保護者、住民の信頼を損ねることのないよう教育公務員としての自覚とともに、法令遵守の徹底に努めていきたい。

Q

介護予防事業の拡充を

A

町独自の介護予防事業を強化していく



いしはら まさふみ
石原 政信 議員

石原 介護予防を考える学習機会の充実や介護予防事業の拡充として、どのような内容、進め方を考えているのか。

また介護予防を進めるためには、行政職員のかかわりや地域企業とのつながりも大切だと思いがいかか。

町長

介護予防事業の拡充と学習機会については、「物忘れ健診」や「ロコモ予防検診」という本町独自の取り組みを強化し、ハイリスク者のフォローアップを丁寧に行っていくとともに、成人期からの健康学習の機会を増やしていきたい。

Q 地域資源の桜を活かした協働のイベントを

地域のより良い交流の場として機能させていきたい

石原

町民の交流の場をつくることで、高齢化社会への対応や、町民のつながりをつくるために大切だ。

地域の資源である桜を活かした、地域、企業、行政も関わる協働イベントを開催できれば、つながりを深め、支え合いの充実へつながると考えるが。

町長

本町には押原、常永、西条地区すべてに桜の名所がそろう。彩の広場では、地域や企業などとの協働によるイベントを開催できるよう取り組みたい。

また山伏川や今川、諏訪神社も、ライトアップなどを引き続き行い、今後も、町民のより良い交流の場として機能させていきたい。

Q

町長の政策の具体的な取り組み内容は

A

教育問題を総合的に
検討する会議を組織していくうみの ゆたか
海野 豊 議員

私の掲げる4本の柱をもとに取り組む事業として、教育環境の充実では、いじめ

町長

海野 町長は教育環境の充実、社会福祉の充実、地域経済の発展、安全・安心なまちづくりの4本柱を公約に掲げているが、今年度はどのような政策に取り組むのか。消費増税により歳出増加もあるだけに、住民目線でスピード感を持って実現されることが大事だと思うが、具体的な取り組み内容を聞きたい。

海野

や不登校対策等の教育問題を総合的に検討する会議を組織し、「公営塾」なども検討していきたい。

またNPO法人フードバンク山梨と「子どもの貧困対策連携協定」を結び、必要な家庭への長期休業中の食の支援を行っていきたい。

社会福祉の充実では、健診機関で都合の良い時期に各種検査を選択して受診できる「施設内健診」を、令和2年度から新規導入できるように進める。

地域経済の発展では、昭和町小規模事業者補助金の検討を行っていく。

また安全・安心なまちづくりでは、令和2年度までの事業として、安全なブロック塀等への改修等を町民に啓発していきたい。

Q

豪雨災害時を
想定した河川管理を

A

鎌田川の本改修を
県に強く要望していく

海野

町内の河川のうち、鎌田川や常永川などの主要河川

Q

福祉避難所の受け入れ人数は
足りているのか

A

想定する受け入れ人数に
対応できているかわすみ やすしげ
河住 保茂 議員

河住

東日本大震災の避難所では、体調を崩す高齢者が相次いだことで、災害時には要援護者の避難所として民間施設に協力してもらうことも大切かと思う。

県内では甲府、南アルプス両市が東日本大震災以前に各市内の福祉施設を福祉避難所とする協定を締結し、県でも平成24年度に福祉避難所の拠点施設を整備している。

また甲斐市は最近、市内の介護福祉施設と災害時要援護者の受け入れに関する協定を結んだ。

昭和町でも災害時におけ

る福祉避難所として平成29年に特別養護老人ホーム「昭寿荘」、介護老人保健施設「ノイエス」、介護老人保健施設「ひばり苑」、社会福祉法人ひとふさの葡萄「サポート昭和」、「あおぞら」、社会福祉法人さかき会「みらいファーム」、一般社団法人「なないろそらの家」等と協定を結んでいるが、これで大丈夫なのか。

町長

昭和町地域防災計画では、「避難生活が長期化する場合等、必要に応じ避難所での生活が困難な要配慮者を入所させる福祉避難所を総合会館和室等に開設収容する。

また町内外の福祉施設に二時的に入所措置する」となっている。

山梨県東海地震被害想定調査に基づく想定では、要配慮者40名程度と考えられ、協定を締結している施設では

おおむね30名程度が入所可能であり、総合会館和室では19名が収容可能で、想定する人数は対応できることとなる。

もしも、要配慮者の人数が多くなり福祉避難所の収容人数が不足する場合は、総合会館の軽運動室や空いている公共施設等を福祉避難所とするなどの状況に応じた対応をしたいと考えている。

再質問

要配慮者の入所についてあらかじめいくつかの基準等を決めている自治体もあるが、本町ではどう決めているのか。

企画財政課長

各施設の特長にあった形での入所を考えているが、実際には災害時に担当の職員や保健師等が判断して対応することになる。



茂っている。

を現地調査したところ、ゴミや汚泥が堆積していたり、未改修工事箇所があったり、管理されていないところが多い。

町長

豪雨時には浸水被害が心配されるが、町としてはどのような対応をしているのか。

町長

町内の鎌田川、常永川、渋川の3つの二級河川の管理は、県中北建設事務所が毎年調査を行い、順次、補修や除草を行うことになっている。

常永川は昨年に町も要望を出し、草等の除去作業が行われた。

鎌田川では平成2年度から河川改修が進められているが、本町地内の流域は暫定的な改修箇所の状態が長年続いていて、本改修については年次整備計画がなされていない。

年次整備計画の立案と本改修を県に強く要望していく。

再質問

県が昨年、常永川の草等の除去作業を行ったということだが、現状は草が生い

建設課長

県では現状、常永川の土砂の浚渫等は行っていない。県の考え方では草を倒し、踏み固めて河川の有効断面を確保することである。

土砂の溜まり具合等を確認しながら、浚渫をするように県に強く要請していきたい。町としても町が管理する水路は予算の範囲の中で、浚渫等をしていきたい。



常永川の現状

Q

町道30号線の供用開始時期は

A

令和3年5月の
供用開始を予定しているながた のぶお
長田 信夫 議員

この道路の整備は着手から30年ほどの時間を要していて、昨年度、地権者全員の協力を得ることができたことで、工事着工は7月だと聞いているが、町道30号線の上水道も含めた供用開始時期と、甲斐市境まで、こ

長田

アルプス通りと昭和バイパスを南北に結ぶ補助幹線道路としての役割を持つ町道30号線は、災害時には救援活動の拠点となる防災公園、押原公園へのアクセス機能を備えた道路で、今後予想される大規模災害に備える道路であると聞いている。

また、この地域の下水道整備および供用開始については、本年度工事計画をしている下流側である押越区山幸給食付近から町道30号線を北上施工しながら、令和4年度に下水道工事を終え、令和5年9月に供用開始したいと考えている。



町道30号線新設箇所(アルプス通り側)



町道30号線新設箇所(町道1号線との交差点側)

の工事で埋設する予定の下水道未供用管の供用開始時期を聞きたい。

町長

町道30号線道路新設事業は平成23年度から本格的に事業を開始し、平成30年度をもってすべての用地買収を終え、令和元年度に全般的な道路工事を実施することになった。

道路築造工事においては、本年度6月補正に予算計上し、本年度から令和2年度まで工事を行う。

上下水道工事も令和2年度に道路築造工事と並行して施工し、令和3年5月に道路の供用開始をしたいと考えている。

建設課長

横断歩道の設置については警察と協議を進めていきたい。町としては安全対策として、車止めのポール等の設置も検討していきたい。

町道1号線との交差点には横断歩道の設置も可能と思うが、交差点協議の現在の状況と、歩道の巻き込み部分には車止め等の設置も含め安全対策を講じる考えがあるか。

再質問

町道1号線より西側の一部は、民間による宅地分譲も計画されていると聞いている。

Q

教育現場と保健・福祉との連携強化を

A

きめ細かな連携、
協働を今後も推進していく

かわだ あけみ 議員

子どもたちが巻き込まれる事件や事故はとぎれることがない。子どもたちからのSOSを見逃さないことは、家庭、学校、地域、行政が一体となって子どもたちの成長を支え、「誰ひとり、取り残さない」という強い信念が大切だ。

河田

昭和町の次代を担う大切な子どもたちのSOSを見逃さないためにも、教育現場と保健・福祉分野との情報の共有が力であり、行政の一体的な対応を強く望むが、町ではどのように考えているか。

教育長

これからの学校教育には教育と保健・福祉の連携は必要不可欠であり、チーム体制による総合的な連携・協働が教育効果をより高めるものと考えている。

これまでも、いきいき健康課、福祉課、教育委員会が連携・協働し、きめ細かな取り組みを進めているところである。これからも継続・強化し、さらに推進していきたいと考えている。

再質問

これまでの計画や取組の成果を具体的に教えてほしい。

学校教育課長

放課後児童クラブの受け入れ拡大や発達相談の受け入れ対象の拡大など、就学後の対応を行っている。また、就学までに保健師と保育園訪問をしたり、主幹指導主事がコーディネーターとなり、福祉課につなげるなど、ニーズを捉えたきめ細やかな対応を行っている。

Q

幼児期から
小中高までの
成長過程を見守る
体制づくりを
切れない見守りや
支援の充実を
図っていく

A

河田

昭和町を支え活力になる大切な人材である子どもたち、幼児期から小・中・高くらいまでの成長過程を見守るシステムのような体制などがあればと考えているが、町の考えを聞きたい。

教育長

現在、町内の小中学校は、小さなまちのメリットを最大限に生かしながら、コミュニティ・スクールなどの取り組みを通じてきめ細かな成長の見守りや支援に努めているところである。

教育委員会においても必要に応じて専門機関や医療機関とも連携し切れ目のない支援の充実を目指している。

しかし、高校は義務教育でないことや、学区が全県になっ

たことなどから、中学校と高校の連携は課題といえる。今後も教育と保健・福祉がそれぞれの立場と役割を理解する中、よりきめ細かな連携と切れ目のない見守りや支援の充実に向けて、二層の推進を図っていききたい。

再質問

支援が必要な幼児や児童のための「サポートノート」があるというが、どのように使われているのか。

学校教育課長

「サポートノート」は県が発行しているもので、主に支援が必要な子の家庭で活用している。幼児期から子どもの様子を家庭で記録でき、必要に応じて学校に提出することで、学校が入学前の様子を知らることができる。少しずつだが活用は進んでいて、町でも二層の活用を呼び掛けている。

議会クイズ

正解者の中から抽選で5名の方に
図書カードをお送りいたします。

空欄に当てはまる言葉を入れてください。

- ① 区長と議員との意見交換会 区長の参加人数は〇〇人!
- ② 一般質問ここが聞きたい! 今定例会の質問者数は〇人!
- ③ 議員記者が行く! 女性〇〇ネット昭和へ取材!

ヒント
182号
(この号)を
読んでください

No.181 に対する

こんなご意見をいただきました!

新町長さんの主要施策の4つの柱で豊かな町づくりに新議員さんに期待しています。これから先のことを考えて頑張ってくださいを、いち年寄りとして願っています。

40年前は家の前の川にハヤ、ホタルなど見えたのに今は何も見当たりません。また町の小鳥ひばりは…変わってしまい寂しい限りです。

ハガキにて(79歳・女性)

いつもわかりやすく、楽しく読んでおります
ハガキにて(69歳・男性)

町長選挙・町議会選挙の議会だよりだったこともあって、議員の質問を身近に感じた。今後も議会だよりを通して町政を注視していきたいと思います。

メールにて(61歳・女性)

昭和町から南アルプス市に嫁ぎ32年、めざましい発展にビックリです。実家に行く折広報と議会だよりを見るのが楽しみです。

それぞれの地区を回り井戸端会議を開いているのは地域密着で良い事だと思います。これからも誌面を楽しみにしています。

ハガキにて(57歳・女性)

議会定例会の質疑応答を読んでいると、実際にその場で聞いてみたくなりました。今後、議会を傍聴したいと思います。

メールにて(59歳・女性)

【応募方法】

①クイズの答え ②住所 ③氏名(ふりがな)

④年齢 ⑤議会だよりを読んだ感想

を記入して、はがき・FAXまたはメールにてお送りください。議会だよりへの要望・意見等もありましたら、お願いいたします。

【あて先】

〒409-3880 昭和町押越542-2

昭和町議会事務局「議会クイズ係」宛

●FAX:055-275-0370

●メール: gikai@town.yamanashi-showa.lg.jp

《しめきり》8月末日 消印有効



第14回

議員記者が行く



議員記者が行く!のテーマは「町を守る」。町内で活躍する皆様にスポットを当て、活動を追っていきます。
今回は女性防災ネット昭和を取材しました。

Q 女性防災ネット昭和とはどんな組織ですか?

A 東日本大震災の翌年の平成24年4月に創立した「自分の命を守る=自助」をお伝えしているボランティア組織で、昭和町に住む主婦13人で活動しています。

災害時でも普段に近い生活を送れるよう、家庭生活や子育てから見てきた気付きを防災減災にも役立てていく取り組みをしています。

また、身近な気付きを昭和町広報へ「一口メモ」として毎月掲載したり、地域や諸団体の依頼を受け、住民の方々への防災講座も行っています。



Q これからの活動と課題は?

A 防災減災対策は終わりが無いもので、自らの学習も含め、継続してお伝えしていくことが大切だと思っています。

実際に体験された方の話を伺い、報道では見聞きできない生の声をこれからも伝えていきたいと思っています。

住民一人ひとりの防災意識が、より向上することを願っています。



Q 活動で心がけていることは?

A 日ごろの生活でも防災を意識し、いざというときに活かせる知識や判断力を向上できるように活動しています。

防災講座は、地域や参加年代に合わせたものにし、どの世代にもわかりやすい言葉でお伝えするようにしています。

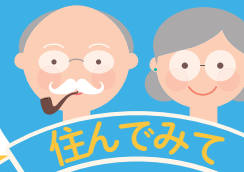


会長から町のみなさんへ

防災減災の対策情報はいろいろなところで見聞きすることができますが、自分に合った、自分のできるものから始めていくことが大切になります。「まず、始めてください!」

自助とは自分の命を守ることです。自分の命を守ってこそ、ほかの人を助けることができるのです。





昭和町に住んでみて



河西区
ふじはら
藤原 祐斗
さん

昭和町に移り住み、早7年が経ちました。7年前に自身の結婚を機に、この地で妻と生活をスタートさせました。私が移住したきっかけは、妻の実家が昭和町にあり、今後子どもが生まれた時の妻の事も考え、妻の生まれたこの地に居を構える事を決意したからです。

今では子宝に恵まれ、毎日を賑やかに過ごしておりますが、今改めて思う事は、子育てをしている中で、この昭和町に移り住み本当に良かったと感じています。昔と比べて区画整理や道路の整備が進み、住みよい街、住宅街として県内でも有数の地となり、更には商業施設も年々増え遠方に足を運ぶ必要も無くなりました。休日には子ども達と遊ぶのに、町内の大小様々な公園で遊んでおります。

このように、沢山の魅力で溢れており、今後まだまだ発展していくであろう昭和町。私自身も子どもの成長と共に、この街の発展をこれからの楽しみに、何か地域に貢献出来る様に、微力ながら力になれればと思います。

昭和町に住んで



清水新居区
まつの
松野 敦子
さん

結婚を機に、夫の実家のある昭和町清水新居に移り住み12年が経ちました。

5年前に子どもが生まれてからは、子育てがしやすい町だと感じています。子どもが保育園に入る前は「児童センターゆめてらす」で先生方に沢山の相談に乗ってもらったり、子どもと遊んでもらいました。初めての子育てで心細く、人付き合いが得意ではなかったのですが、なかなか話をする人を見つけれず、初めてはじめてでしたが、積極的に声を掛けていただき、初めてはじめてでできる身近な居場所を町内に見つけることができました。

暑いときに子どもと遊ぶのには、押原公園の水場が整備されていて、安全に楽しく遊べるので特に気に入っています。

昨年度、愛育班員を務めました。活動を通じてご近所さんと身近な存在となりました。同世代の新しい交友関係もできました。今では定期的に集まって色々話をするのがとても楽しみです。これからも昭和町で色々な方とつながりながら楽しく暮らしていきたいと思っています。

議会を 傍聴 しませんか??



次回定例会は

9月5日(木)

開催予定です

【お問い合わせ】

☎275-8842 (議会事務局)

広報編集 常任委員会

委員長
副委員長
委員

金丸 長田 石原 小林 石原 海野

富一 信夫 一好 耐三 豊政 信



議会だよりしょうわ

県で平成30年度
最優秀賞

山梨県広報コンクールにおいて
山梨県知事賞を議会広報紙
町村の部で受賞した179号

